

代表者名	浦嶋 幸一	所 管 部 課 名	産業経済労働部観光課
所在地	小坂町十和田湖字鉛山無番地	設 立 年 月 日	平成9年12月5日

【沿革及び県の出資理由】

歴史的・文化的価値の高い十和田ホテルを後世に伝えるとともに、同ホテルの効率的な運営を図り、もって十和田地域の観光の振興に寄与することを目的に県等の出資により平成9年12月設立。

【出資者】(17年度当初) (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	100,000	40.0
市町村	3	25,000	10.0
その他	15	125,000	50.0
計	19	250,000	100.0

【事業】

主たる業務

十和田ホテルの諸施設の管理運営業務
酒類、食料品、土産物等の販売
上記各号に付帯する一切の業務

事業実績

(人)

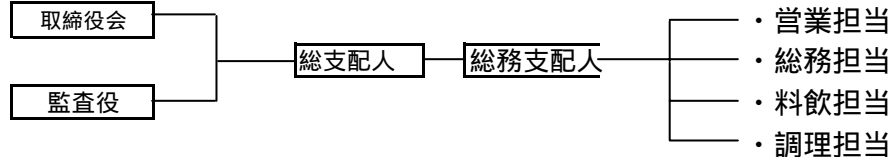
事業名等	14年度	15年度	16年度
宿泊客	19,263	20,035	18,793

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

平成16年度は6～8月にかけて低調に推移したため、前年比9.1%減の330百万円、当期利益は対前年比26百万円減の3百万円となった。平成17年度は十和田湖エリアへの観光客数は年々減少傾向にあることを踏まえて、年間宿泊人員目標を前年比1.5%減の18,515人、売上高を前年比1.1%減の326百万円とする。

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県OB		
非常勤	8	1
内、県OB		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	1	0

職員数

(人)

	人数	備考
正職員	10	平均年齢
内、県OB	0	27.0歳
出向職員	1	
内、県職員	0	
臨時・嘱託	14	正職員
内、県OB	0	平均勤続年数
計	25	3.3年
内、県関係者	0	

【財務】

損益状況(16年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	329,571
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	329,571
運用益収入	
その他	
経常支出 B	337,257
人件費	95,906
その他	241,351
経常損益 C = A - B	-7,686
経常外収入	4,909
経常外支出・諸税	361
当期損益	-3,138

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

財務状況(16年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	166,198	94.9
固定資産	8,892	5.1
資産計	175,090	100.0
流動負債	12,354	7.1
短期借入金		0.0
固定負債	6,793	3.9
長期借入金		0.0
引当金等		0.0
負債計	19,147	10.9
資本金	250,000	142.8
剰余金	-94,057	-53.7
資本計	155,943	89.1
負債・資本計	175,090	100.0

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
----------	------	-----	-----

【県の財政支出】

(千円)

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	16-17増減
健全性	自己資本比率	%	79.78	83.19	89.06	3.42	5.87
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	1,449.37	1,443.38	1,345.30	5.99	98.08
収益性	剰余金(欠損金)	千円	113,499	90,919	94,057	22,580	3,138
	経常利益率	%	2.73	7.11	2.33	4.37	9.44
	総資本利益率	%	5.56	13.47	4.39	7.91	17.86
発展性	経常収入額	千円	347,982	362,402	329,571	14,420	32,831
効率性	総資本回転率		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	11,999	12,080	11,365	81	716
	人件費比率	%	26.84	26.14	32.56	0.70	6.42

2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	経常利益額(千円)	目標		15,000	20,000	20,000
		実績	20,310	25,750	2,901	0
経営改善指標	売上高経常利益率(%)	目標		4.7	5.7	5.7
		実績	5.8	7.1	2.3	0
事業成果指標	売上高(千円)	目標		321,000	353,000	353,000
		実績	347,932	362,376	329,571	0
事業成果指標	個人客宿泊人数(人)	目標		13,600	15,600	14,600
		実績	14,830	16,179	15,129	0

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

景気の低迷により周辺同業他社では、民事再生手続きや営業終了など十和田湖周辺の宿泊施設の経営状況は依然として厳しい状況にある。その中で、継続して自然志向の中高年客をターゲットとした営業を行うとともに、料理原価のコントロールにより材料率の低減や、サービス、調理のレベルアップを図るための現地スタッフ増員するなど、経営改善に取り組んだが経常利益はマイナスとなった。今後は、プロパー職員の人材育成のより一層の強化と徹底したローコスト・オペレーションにより業務の効率化を図る。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	◀層の努力を要する経営内容
地元採用職員による顧客サービスの強化を図っていることは評価できる。 経費削減は重要であるが、これによりサービスの質の低下にならないような経営努力が必要である。	